

# Fit to Standardで倉庫オペレーションを標準化。 属人化を解消し、業務の効率化と可視化を実現。



## NX・NPロジスティクス株式会社 舞浜倉庫

導入時期：2025年10月  
導入地域：関東

### 課題

多種多様な商材を取り扱う倉庫業務は作業員のスキルに依存する作業が多いため、在庫の管理やオペレーションの指示が複雑になっている

### 解決策

Blue Yonder Warehouse Managementを基盤に倉庫業務全体を標準化。LPN(License Plate Number)管理、システムによる作業指示を活用し、精度の向上と効率の改善を実現

“業務が標準化されシステム側から自動で作業指示が行えるため、作業者のスキルを問わずに同じ品質の作業が可能に。さらに荷姿単位のトラッキングで在庫管理の精度が向上し、棚卸や補充の負担も大幅に軽減。”

### 背景

#### 多様な商材と属人作業が倉庫作業を複雑化

千葉県浦安市に位置するNX・NPロジスティクス株式会社様の舞浜倉庫では、ディスプレイなどの映像機器や音響機器、カメラといった様々な荷物を取り扱っています。物流業界では慢性的な人手不足が課題とされる中、舞浜倉庫では紙ベースや口頭での指示など、人の経験に頼ったオペレーションが必要であり、現場の業務負荷が課題となっていました。また、保管のロケーションや導線、補充タイミングやピッキング順序は現場の判断に委ねられる場面が多く、作業者ごとにばらつきがあるなど運用の持続性や品質も課題となっていました。このような要因が積み重なることで作業効率や品質、在庫管理精度の低下に繋がっていたため、倉庫管理業務を改善する業務の標準化と可視化が求められていました。

### 導入した理由

#### Blue Yonder Warehouse Managementで「Fit & Gap」から「Fit to Standard」に

物流業界では現場ごとに独自の作業スタイルが根付いているため、標準となるオペレーションモデルを構築しづらく、従来の舞浜倉庫の倉庫管理システムは既存の業務プロセスにあわせてシステムを開発・カスタマイズする「Fit & Gap」で構築されてきました。一方で複雑化する物流業界の要求対応、将来的な運用拡大に対応するため、標準化を前提とした業務プロセスの再構築と、可視化を軸にした倉庫全体の最適化が求められていました。そこで、業務プロセスをシステムに合わせる「Fit to Standard」の考えに基づいた、Blue Yonderの倉庫管理ソリューション「Blue Yonder Warehouse Management」を採用。標準化されたシステムが、舞浜倉庫の将来を見据えた基盤として導入が進められました。

#### 独自のネットワークでエレクトロニクスのサプライチェーンを支える

NX・NPロジスティクス株式会社様は、エレクトロニクスロジスティクスを基盤に、独自の配送ネットワークで保管・輸配送サービスを提供する総合物流企業です。千葉県浦安市に位置する舞浜倉庫では、パナソニック コネクタの製品をはじめとした多様な顧客の荷物を取り扱い、確かな品質と対応力でパートナーのサプライチェーンを支えています。



■所在地：千葉県浦安市千鳥12-1  
■URL：<https://www.nplc.co.jp/>

▲NX・NPロジスティクス株式会社様の舞浜倉庫

# Blue Yonder Warehouse Management (倉庫管理)



▲ 入荷検品時にハンディターミナルでバーコードを読み取ることでLPNで荷姿単位のトラッキングが可能

## 導入後の効果

### 属人化の解消で作業品質の向上と業務効率化を実現

Blue Yonder Warehouse Management導入後は、ハンディターミナルに表示されるシステム主導の作業指示に従うことで、誰でも同じ品質で作業できる環境が整いました。特にこれまで人の判断に頼っていた入荷作業では、システムと倉庫作業員端末がリアルタイムで連携することで、保管棚が自動的に選定されるため約30%の作業時間短縮が見込まれています。出荷作業においてはハンディターミナルでバーコードを読み取る検品でデータ連携による出荷内容の自動確認が可能になったことで、大幅な検品精度の向上と工数削減も実現しています。これによって倉庫内全体の作業品質のばらつきが抑えられ、全体の生産性が向上しました。

### 業務の可視化で棚卸の精度向上と補充を最適化

在庫管理面ではLPN(License Plate Number)により荷姿単位での在庫トラッキングが可能です。品番、数量、ロケ情報をLPNと紐づけることで、正確な在庫トラッキングと検品精度の向上を実現しました。また、アドオンで導入した稼働品棚卸機能を活用することで、当日動きがあったロケーションのみを対象に棚卸が可能となり、従来のように全体棚卸へ多くの人員と時間を割く必要がなくなっています。さらに、事前補充と緊急補充をシステム上で自動化したことで、ピッキング中に在庫が不足する場面もなくなり、作業が中断されることなくスムーズに進んでいます。これにより、在庫差異の早期発見や在庫鮮度の維持にも効果を発揮しています。

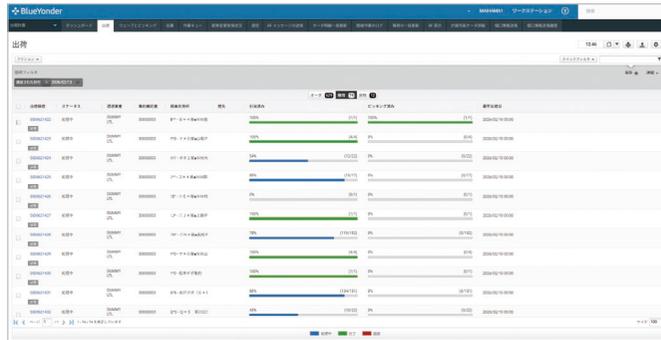


▲ 入荷・検品作業はLPNにより荷姿単位でのトラッキングが可能。検品の精度や速度が向上しています

## 今後の展望

### Blue Yonder Warehouse Managementがサプライチェーンを最適化する大きな一歩に

今後はBlue Yonder Warehouse Managementに蓄積されるデータを活用し、需要の変動を踏まえた補充計画の自動化や、倉庫内動線を最適化するアルゴリズムの構築など、さらなる進化を目指しています。この取り組みは、倉庫管理の改善だけでなく、物流全体のサプライチェーンを最適化する大きな一歩と期待されています。今後は、舞浜倉庫をモデルケースとして、他拠点の倉庫に向けても標準化の価値を伝える取り組みも進めており、システム主導型の倉庫業務があたり前になる未来を見据えています。



▲ 荷姿単位のトラッキング、在庫管理が可能なこと、柔軟な荷棚配置も可能に

## パナソニック コネクトのFit to Standardとは

パナソニック コネクトが掲げる「Fit to Standard」の考え方は、物流業界が直面する人手不足、多品種少量化、事業環境の変化といった課題に対して、持続可能な運用基盤の構築を目指しています。標準化された業務プロセスに基づいた倉庫運営は、現場の属人化を抑え、誰でも安定した品質で作業できる環境を整えるだけでなく、将来的なシステム拡張・新技術の導入を容易にします。また、Blue Yonder Warehouse Managementの特徴であるLPN管理やシステム主導の指図型オペレーションに代表される機能群が、倉庫オペレーションにおける柔軟性を高める核となり、これらを軸とした運用モデルは国内の物流業界全体を高度化させる基盤になるように取り組んでいます。

## 導入ソリューション

- ・ Blue Yonder Warehouse Management (倉庫管理)

▶ Blue Yonder Warehouse Managementの管理画面。作業のステータスや進捗状況を一覧で確認することが可能

